

物性データ

項目	単位	測定値	備考
厚み(粘着剤含む)	μm	75~85	
引張強度	N/25mm	縦31.4以上 横31.4以上	
伸び	%	縦120以上 横120以上	
粘着力	初期	10.0以上	23℃ 1時間
	経時	20.0以上	23℃ 168時間

被着体:ステンレス

耐性試験

試験項目	方法	VC880,820
加熱寸法変化率	80℃×48時間後常温放置して、縦・横の変化率を見る	0.1%以下
耐熱老化性	80℃×168時間	異常なし
湿潤老化性	50℃ 95% RH×168時間	異常なし
耐水性	23℃ 水×168時間	異常なし
サーマルショック性	※1	異常なし
耐塩水性	5%塩水中に400時間浸漬	異常なし
耐候性	サンシャインウェザオメーター2,000時間照射	異常なし ※2
屋外曝露	フロリダ2年間 南面45度、被着体アクリル焼き付け塗装板	異常なし ※2
耐酸性	0.5% H_2SO_4 に0.5時間浸漬	異常なし
耐アルカリ性	0.1N NaOH に0.5時間浸漬	異常なし
耐ガソリン性	レギュラーガソリンに1時間浸漬	異常なし
耐油性	エンジンオイルに1時間浸漬	異常なし

※1 ヒートサイクル条件

50℃×3時間→常温×1時間→50℃95%RH×15時間→常温×1時間を5サイクル。

※2 著しい変化なし

防火認定「不燃(金属板下地)」を取得

国土交通大臣認定番号	指定下地材
NM-2501(不燃材料)	法廷不燃材料(金属板)

施工時の温度

貼り付け作業は10℃以上の環境下で行ってください。

低温(10℃以下)の場合

初期粘着力が低下し貼付しづらくなるためドライヤーなどで温めてから貼付し、十分に圧着してください。

高温(30℃以上)の場合

初期粘着力が向上し貼付しづらくなるため、水貼りをお勧めします。

フィルムの保管について

- フィルムの保管について保管は紙管に巻いた状態で宙づりにして保管してください。
- 高温多湿の場所を避け、風通しのよい場所で保管してください。
- 高温で彫金保管されるとフィルムの表面につやむらが生じますのでご注意ください。

施工時のご注意

■ 波板、コルゲートなどの凹凸面に貼付する場合

押し込み貼りを避け、形状に沿って貼ってください。
リベットなどの突起物周辺は形状に合わせてカットし十分に圧着してください。
冬季にはドライヤーなどで少し温めながら作業することをお薦めします。

■ ステンレススチールに貼付する場合

条件によって粘着剤及びフィルムが劣化する可能性があります。

■ ガラスに貼付する場合

貼付面積や条件、ガラスの種類によってガラス割れを起こす場合があります。

■ 被着体に接ぎ目がある場合

接ぎ目部でフィルムが破れる場合があるため、フィルムを接ぎ目部でカットしてください。

■ 重ね貼りの場合

同じ製品でも製造ロットにより色、隠蔽性などが微妙に異なる場合がありますので、
同一ロットのフィルムを使用してください。
ベタ貼りおよびマットタイプの場合は、フィルムの流れ方向を合わせてください。

■ FF(フレキシブルフェイス)に貼付する場合

電飾用のビューカル820シリーズをご使用ください。

■ 水平面に貼付する場合

垂直面に比べ劣化が促進される場合がありますので、ラミネートフィルムの使用をお薦めします。
事前にご相談ください。